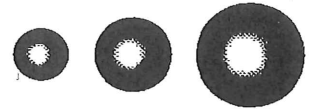


Hand in Hand 21 Plus

ハンド・イン・ハンド 21 プラス

名取市男女共同参画情報紙

プラス11号 2013年 2月



～ 震災後の男女共同参画の取組 ～

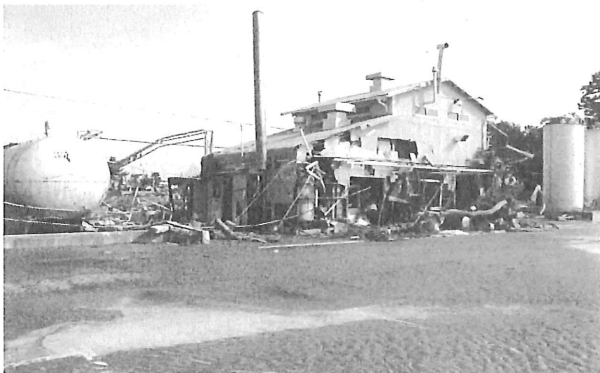
名取市の男女共同参画社会の基本理念 “^{ひと}女と^{ひと}男、互いに認め、ともに輝きともに創る”

女性も男性も、お互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、性別にとらわれることなくあらゆる分野でその個性と能力を十分に発揮できる社会、それが「男女共同参画社会」です。

今回は「震災後の男女共同参画の取組」をテーマに企業・市民団体・名取市の取組の一例を紹介します。

- ① 早期事業復旧の実現と男女共同参画の取組 (株式会社 オイルプラントナトリ)
- ② 家族間の男女共同参画を推進している市民団体 (産直ネットワークなとり)
- ③ 名取市の子育て支援の現状と取組の一例

① 早期事業復旧の実現と男女共同参画の取組 株式会社 オイルプラントナトリ



【被災した再生処理工場】

＜震災の概要＞

3・11の東日本大震災により海岸から1.5キロに位置するオイルプラントナトリの工場は津波で甚大な被害を受け、操業停止状態になりました。そんな状況下、新しい取組としてBCP(事業継続計画)を作成していたことで震災の8日後には一部事業が再開可能となり、社員の雇用を守ることが出来ました。

＜震災で見せてくれたウーマンパワー＞

震災後、工場から7キロ離れた増田にある本社・研修所に緊急対策本部と事務所機能を設け、事業再開の足掛かりを作りました。社員はガソリン不足や電車の不通などでいつもの通勤手段が使えない状態が続きましたが、そんな時でも女性の半数は自転車で通い、遠くは亘理から2時間近くかけて来た社員もおりました。弊社の事務系は女性が大きな役割を担い経営上大いに助かりました。男性は復旧の為に力仕事に専念し、男性は男でしかない業務、女性は女性ならではの業務に専念することが相まって復旧・復興のパワーをそれぞれに発揮することができました。

＜働きやすい職場環境を目指して＞

現在も仮設住宅から2名が通っておりますが、さらに被災者を新たに数名雇用しています。被災後も子育てしている社員の支援として、時短勤務を継続するとともに、平成24年7月には女性退職者を対象にした再雇用制度を導入しました。これは有能な人材確保や即戦力の雇用を目的に業務の専門性を生かし、活躍してほしいと考えたためです。

平成25年4月から「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」も改定されますが、今後も意欲と能力に応じて働き続けられる環境を整え、労働者が性別に差別されることなく、その能力を発揮できる体制を構築し、安心して働ける職場環境を整備していきたいと考えます。さらに、社員のスキルが向上すれば会社の利益も上がるので、事業が継続できる仕組みをみんなで構築していくことが第一であると考えます。



【震災後の緊急対策本部での社員の様子】